

品種解説：「こころまち」

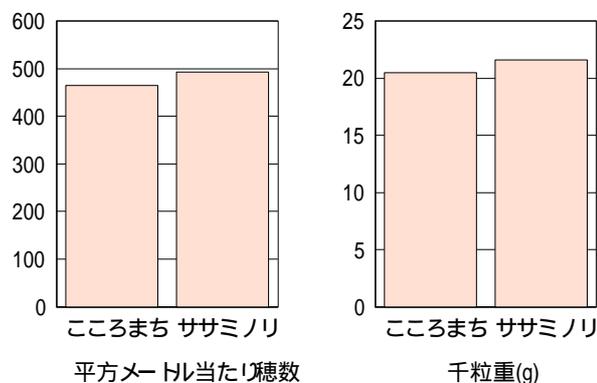
概要：本品種の障害型耐冷性は「ササミノリ」より明らかに強く、“強”である。名前の意味は、“「ひとめぼれ」のイメージに重ねて、生産者・消費者両方から愛されること”を表現する。

1．来歴の概要

早生で良質、良食味の「東北 131 号」(後の「ハヤユタカ」)を母とし、中生で耐冷性といもち病抵抗性の優れた「中部 44 号」を父として、1982 年に宮城県古川農業試験場で交配された。1986 年に「東 285」の系統名が付けられ、1993 年に水稻農林 321 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「ササミノリ」よりやや短い。
- ・ 穂 長：「ササミノリ」よりやや長い。
- ・ 穂 数：「ササミノリ」よりやや少ない“偏穂数型”のうるち種である(下図参照)。
- ・ 粒 大：「ササミノリ」より小さい。
- ・ 千粒重：「ササミノリ」よりやや小さい(下図参照)。



3．生態的特性

- ・ 出穂期・成熟期：「ササミノリ」よりやや早く、育成地では“早生の晩”である。
- ・ 収量性：「ササミノリ」並みである。
- ・ 耐倒伏性：「ササミノリ」より明らかに強い。
- ・ 葉いもち抵抗性：「ササミノリ」並みである。
- ・ 穂いもち抵抗性：「ササミノリ」並みである。
- ・ 耐冷性：「ササミノリ」より明らかに強い。
- ・ 穂発芽性：「ササミノリ」より難である。

特 性	こころまち	ササミノリ
耐冷性	強	やや弱
耐倒伏性	やや強	やや弱
葉いもち抵抗性	強	強
穂いもち抵抗性	強	強
穂発芽性	やや難	中

4．品質・食味特性

- ・玄米の光沢がよく、腹白、心白は「ササミノリ」より少ない。
- ・玄米の外観品質は「ササミノリ」に優り、“上の中”である。
- ・食味は「ササミノリ」より明らかに良好で、「ササニシキ」に近い“上の下”である。

5．適地等

- ・東北中南部の山間地帯および三陸沿岸地帯に適する。

6．栽培上の注意

- ・生育量が「ササミノリ」より小さいので健苗育成に留意し、初期生育の確保に努める。
- ・白葉枯病抵抗性が“弱”なので、常発地では防除に留意する。

< 参考資料 >

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成 5 年 7 月）：平成 5 年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。